

令和3年度 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)

	1	2	3	4
項目	学習指導について	生徒指導について	進路指導について	ICT推進について
重点事項	教職員個々のスキルアップを目指した授業改善サイクルを回す	交通事故の未然防止	生徒の進路意識の高揚を図り、第1志望進路を実現するための効果的な支援を行う	Google for Education, Chromebook, 電子黒板等によるICT活用促進を図る
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT推進部との協働、全職員との情報共有に努め、授業・業務改善に効果的なICT活用の手立てや各種情報提供を図った。</li> <li>校内授業研究会(公開)は、ICT活用推進モデル校事業中間発表会を兼ねて実施した。関心の表れか、外部参加者47名を含む102名が参加し、効果的なICT活用実践をテーマに研究授業・協議を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関の協力を得ての年間4回の敬天週間の実施</li> <li>年2回(秋田東警察署、生徒会企画)の交通安全教室の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路行事の意義の共有や内容の充実を努めた。</li> <li>成績全体のみでなく、各教科の分野・設問別の分析を促しながら、苦手分野・設問の克服に努めた。</li> <li>教科へ課題提示と克服への方策の話し合いを設定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画研修部と連携し、Jamboard研修会を行った。</li> <li>生徒、教員に対してICT活用に対する意識調査を行い、現状・課題の把握に努めた。</li> <li>モデル校事業中間発表では、企画研修部と連携し、校内授業研究会で、総合的な探究の時間の授業を公開した。</li> <li>生徒、職員用の端末や電子黒板の適正な管理を行った。</li> <li>ホームページ運用の仕組みを変え、最新情報の更新を行った。</li> </ul>
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や業務の改善に効果的なICT活用への取り組みは、ICT推進部との協働、何より職員や生徒の積極的な姿勢のおかげで、日常的に活用が進んでいる。</li> <li>校内授業研究会(公開)では、効果的なICT活用実践をテーマに研究授業を行い、協議会も研修を兼ねてICTを活用した。参加者の多くに意識変化が見られ、所期の目的は達成できた。ただ、授業改善強化期間での相互授業参観の取り組みは低調だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も大きな事故無く終えられたと見ていて、報告のあった事故件数は13件。目標を大きく上回ってしまったが、内容を見ると、被害にあった形の事故が多く、生徒の自転車乗車時のルール遵守の姿勢はある程度育めたのではないかと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年進路担当と講演者の事前打合せを密にし、学年の要求・状況に即した実施内容となった。</li> <li>設問別に分析することにより、苦手分野や改善点を授業の中で実戦・指導できるようになった。</li> <li>教科内での本校の課題の共有に繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chromebook導入により、教員のICT活用に対する意識の変わりがうかがえ、より積極的に効果的な取り組みが見られるようになった。</li> <li>Jamboard研修会により、教員間や教員と生徒間での情報共有や意見交流、評価の仕方が効率的になった。</li> <li>モデル校事業中間発表では、本校の取り組みやその方向性を的確に外部に発信することができた。</li> <li>ホームページを大幅リニューアルし、タブレット端末からも閲覧しやすくなった。長期間更新が途絶えていた情報を一新し、本校の最新の活動を公開することができた。</li> </ul>
評価	A	B	A	A
次年度への改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善強化期間での相互授業参観については、効果的な方策を講じる。</li> <li>ICT推進部との協働をより強化し、ICT活用促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月毎に警察から来る自転車乗車時の警告教を見落とす、突出して多い月があった。油断せず、事故の未然防止のために常に生徒に呼びかけていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事作成の段階で、学年の状況をしっかりと捉え、実施や時期の見直しもでき、柔軟に対応していく。</li> <li>理数系教科・科目の学力不足は今年度も大きく割合に影響しており、喫緊の課題として対応していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリの更なる積極的な活用と効果的な方法の研究と情報共有を図る。</li> <li>Chromebookの不具合(今年度140台超)への対応を円滑に行う方を講じる。</li> <li>モデル校事業2年目に向けて、探究活動委員会との連携し、総合的な探究の時間におけるICT活用スキルの向上を目指す。</li> <li>企画研修部とより密接な連携を図る。</li> </ul>
学校関係者の御意見・御感想及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究授業、中間発表会、また日常的な共同研究の取り組みが効果を挙げていると考えます。</li> <li>各教科でチーム体制を整えて個々の教師の指導力向上に努めている。組織力が教師力を高めている。</li> <li>部活動の大会参加時の公欠に対して、学習のフォローをお願いします。</li> <li>Alli など英語教育の先進校や大学との情報交換を図り、より多面的、実践的な英語教育の研究を追求し、秋高としての独自の英語教育カリキュラムを構築してみても今後の課題として考えていければいいかなと思います。</li> <li>生徒を信頼している教員の皆さんの日々の姿勢や発言により、生徒に自信を持たせ、学習意欲を高める指導をさらに発展させてください。</li> <li>各先生の授業の展開(導入→展開→まとめ)から工夫して授業を行って下さっていることが感じられる。自主自律の精神を育みつつ、本人の気づきを大切に指導をして下さり、とても心強い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬天週間実施、交通安全教室の実施など、丁寧な指導が実施されていると思います。</li> <li>重点目標に「交通事故の未然防止」のみを掲げているのはいかがなものか。生徒アンケート【自由記述・提案・要望】には、他の課題が多く出されている。もっと生徒会にも問題視させて働きかけ、自主的・自発的に解決策を見出し出していくよう方向づけたい。</li> <li>事故件数のうち、通院や欠席を要するものの有無またはその件数も提示していただけると幸いです。</li> <li>自転車事故は5件以内と言わず0件を目指してほしい。被害にあわないよう危機回避の指導もしてほしい。</li> <li>18歳で成年となる時代になり、社会に出ることの意味、ことあれは厳罰も含めて、法的・社会的なサンクションを受ける身分になったのだということ、示し教えることが肝要かと思えます。自転車事故よりも盗難らしき事象が発生しているのかのようなアンケート結果に対する対処の方が重要なのではありませんか。</li> <li>交通事故に関しては、週中の水、木曜日、時間帯は夕方集中しており、不注意、安全確認不足が多い傾向があります。学校でも当然その傾向は掘りこんでいると思いますが、事故の集中する曜日や時間帯に特に注意を促す指導やアナウンスを徹底した方がよいと思います。うぐいす坂に緩衝地帯を設けるとか、新たな信号機の設置を県警に要請する措置等も必要ではないのかなと思います。</li> <li>自己評価はあえて厳しくされているのだと思います。がんばっていたと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お忙しい中、生徒さんたちに寄り添ったきめ細かな指導を実施されていると思います。</li> <li>ねらいを明確にして指導にあたり、生徒の自己実現につながる手立てが講じられている。保護者アンケート結果からもその成果がうかがえます。</li> <li>各生徒に寄り添い志望校の出題傾向に合わせた個別の対策にもしっかりと取り組んでいただけたと思います。</li> <li>学校として働きたい離園生だけでなく他大(私大も含め)の情報も欲しいと感じます。</li> <li>「第一志望」を実現させる取り組みについては、様々な施策を講じられ、それなりの効果を出していると感じますが、その「第一志望」を決めさせる過程は、満足度のいものなのか?大学等に進学して学びたいことをするには、どの大学のどの学科がいいのかを明確にした上でアドバイスする体制、姿勢が必要かと思えます。同窓会の幅広いOB人脈を活用するの一手です。「東北大学」をモデルにして進路指導をしていることに対し、学校が学校として理想とする、大進学レベルを生徒に押しつけてはいかないのでしょうか。集団的な学習の場では、キャリアパスとはどういふものか、進学することとはどういう意味があるのか、どんな世界が待っているのか、といった根源的なことを示し教えるべきで、固有の学校名を挙げて行う指導は止めるべきだと思います。</li> <li>他には無い秋高の持っている人的資源・財産をフルに活用して、単なる大学進学だけでなく、その後の将来の人生設計に参考になるような話をもっと聞く機会を作ってほしいかがどうでしょうか。</li> <li>低学年からの目標設定と計画的な学習指導・評価などについて、ICTを活用してさらに発展させてください。進路に関してもICTを活用した各種情報収集力を低学年からのほしてください。インターンシップや国内・外の先輩との交流もこれまで以上にICTを活用していただきたい。</li> <li>進路について考える機会を多く与えて下さっていると感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT推進部の取り組み、各教科の取り組み、効果を挙げていると考えます。</li> <li>ICTの活用は推進部のリーダーシップの元で努力が認められる。今後はより一層の環境整備に努め、学習活動では思考の可視化、同時に校務の合理化につなげてほしい。</li> <li>プリントがペーパーレスになると家庭に伝わらない場合もあるので、保護者向けのClassroomを開設するなど、親も直接アクセスできるとありがたいと思います。</li> <li>配布した端末のさらなる活用を期待します。また、教員も生徒の方が遙かに柔軟で斬新な企画能力を発揮できる分野だと思います。生徒に利活用について提案させる機会を持つたらどうでしょうか。</li> <li>リテラシーや基礎的な知識の習得に力を入れることが大事だと思いますが、近い将来デジタル化が進むにつれてDXの分野などで能力を発揮できるような人材育成を目指していきたいと思えます。</li> <li>より一層の効果的な活用で、生徒も先生にとってもより有意義なものにステップアップしてください。</li> <li>ICT活用促進に関しては非常に興味深く、また今後も楽しみにしております。</li> <li>今後の発展が楽しみです。</li> </ul>
評価	A	B	A	A

【評価基準】 A：具体的な取り組みがなされ、目標は達成できた。  
 B：具体的な取り組みがなされ、目標はほぼ達成できた。  
 C：具体的な取り組みがなされず、目標はほとんど達成できていない